資料６

人口・社会統計部会の審議状況について（報告）
（就業構造基本調査の変更）

項　目	変更内容等	部会審議 第1回	部会審議 第2回	審議の状況
1　報告者の選定方法の変更	従前と同様の報告者数を維持するため、調査世帯数を約54万世帯から約58万世帯に変更 それを踏まえ、以下①②の変更を行う ① 第１次抽出における調査区の数及び第２次抽出における抽出数等を見直し ② 外国人の居住する世帯が一定数以上の調査区については、全世帯を対象として選定	●	●	**・基本的な方向については了承** （①調査において必要とされる結果精度を確保するとともに、地方公共団体における事務負担にも配慮したもの、②外国人に係る就業状況の把握のために必要なもの） （なお、次回部会において、令和7年国勢調査の結果を用いた標本設計のシミュレーション結果についても確認予定） 【委員等からの主な意見】 ◆就業状態等の変化を踏まえ、現在の標本規模を引き続き維持する必要性については、結果精度の確保の観点も含め、長期的な視点で検討してほしい。 ◆外国人からも確実に回答を得られるよう、多言語対応など、回答しやすい環境の整備について工夫してほしい。
2　調査事項の変更	①「国籍」の追加	●		**・適当と整理** （国内における外国人労働者の増加を踏まえ、その就業状況の実態について、より詳細に把握・分析しようとするもの） 【委員等からの主な意見】 ◆国勢調査においても外国人の就業・不就業の状況等は集計されているが、収入、就業時間等、本調査に特有の調査事項についても集計・公表し、国籍を把握する意義を明確にしてほしい。
	②「副業として雇われている事業所の数」の追加	●		**・適当と整理** （国民経済計算の雇用者報酬の推計精度の向上に資するためのもの） 【委員等からの主な意見】 ◆報告者が誤解なく回答できるよう、「記入のしかた」等で十分な説明をお願いしたい。
	③「雇用契約の更新の有無・回数」の削除	●		**・適当と整理** （有期雇用契約の実態把握のため調査していたが、利用状況等を踏まえ、報告者負担の軽減を図る観点から削除するもの）
3　調査票様式の変更	単票形式から冊子型調査票への変更		●	（第2回部会で審議予定）
4　集計事項の変更	調査事項の変更や利活用状況等を踏まえ、集計事項を見直し		●	
前回の答申（※）で示された「今後の課題」への対応状況 （※）令和３年12月24日	① フリーランスの的確かつ継続的な集計の実施		●	
	② 郵送提出の導入による影響の検証		●	

※ 部会日程
- 第1回（第156回人口・社会統計部会）：令和8年10月21日（水）に開催
- 第2回は、令和8年11月18日（水）に開催予定
- 第3回は、令和8年12月１日（火）に開催予定（開催の要否・形式は第2回の審議状況を踏まえ判断）